

美 術

美術の目標等について
<p>【教科の目標】 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。</p>
<p>【学年・分野・領域等の目標など】 [第1学年] (1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。 (2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。 (3) 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。 [第2学年及び第3学年] (1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。 (2) 対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。 (3) 自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。</p>

【参考】

- 図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）については、その課題を踏まえ、創造することの楽しさを感じるとともに、思考・判断し、表現するなどの造形的な創造活動の基礎的な能力を育てること、生活の中の造形や美術の働き、美術文化に関心をもち、生涯にわたり主体的にかかわっていく態度をはぐくむことなどを重視する。
 - このため、子どもの発達の段階に応じて、各学校段階の内容の連続性に配慮し、育成する資質や能力と学習内容との関係を明確にするとともに、小学校図画工作科、中学校美術科において領域や項目などを通して共通に働く資質や能力を整理し、〔共通事項〕として示す。
 - 創造性をはぐくむ造形体験の充実を図りながら、形や色などによるコミュニケーションを通して、生活や社会と豊かにかかわる態度をはぐくみ、生活を美しく豊かにする造形や美術の働きを実感させるような指導を重視する。
 - よさや美しさを鑑賞する喜びを味わうようにするとともに、感じ取る力や思考する力を一層豊かに育てるために、自分の思いを語り合ったり、自分の価値意識をもって批評し合ったりするなど、鑑賞の指導を重視する。
 - 美術文化の継承と創造への関心を高めるために、作品などのよさや美しさを主体的に味わう活動や、我が国の美術や文化に関する指導を一層充実する。
- 標準授業時数
 第1学年－45単位時間 第2学年－35単位時間 第3学年－35単位時間

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	9・開隆堂	第1学年 第2・3学年	美術・726 美術・826	美術1 美術2・3
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科各学年の目標、内容等	<p>○ 絵や彫刻などについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 身の回りにあるものや自然物をよく観察して描いたり、動物の動きや姿の特徴をとらえ立体に表したりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～ 自分の内面を見つめ、自分らしさを表す自画像を絵に表したり、人の形や動きがつくり出す空間を考えて立体に表したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ デザインや工芸などについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 身の回りの日用品などに手を加え、生活を楽しむデザインを考えたり、竹や木、土などの自然材料の特徴を生かした工芸品をつくったりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩による表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～ ポスターの作成に向け、形や色彩、文字などの総合的な構成を考えたり、場所を考え、光と明かり、映像で美しい空間を演出したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 自分たちの作品の見せ方や飾り方の工夫について、話し合う活動を通して、自然の造形や美術作品についての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう。</p> <p>第2・3学年～ 日本の美術が西洋に与えた影響について話し合う活動を通して、美術作品についての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう。</p> <p>○ 〔共通事項〕については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 技法の工夫から発見した形や色彩をもとにし、イメージを広げて表現する活動を通して、形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解する。</p> <p>第2・3学年～ 言葉だけでは伝わりにくい情報を、形や色彩を工夫して図やイラストなどに表現する活動を通して、形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解する。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 巻末のページにおいて、水彩絵の具のパレットや筆の使い方、彫刻刀等の種類や彫り方の種類を示したり、電動糸のこぎりの使い方を説明したりするなどの知識・技能を習得する活動</p> <p>第2・3学年～ 材料や用具の特性を生かした伝統的な技能を使った題材において、沈金の制作過程や技法などを示したり、材料や用具の使い方を説明したりするなどの知識・技能を習得する活動</p>			

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 生活に生きる工芸品を制作する題材において、木材と焼き物などの材料や方法を選ぶなど、学校や地域の実態に応じて、取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習することができるような工夫</p> <p>第2・3学年～ 抽象表現の題材において、水彩の描画やスチレン版画を選択するなど、学校や地域の実態に応じて、取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習することができるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「絵や彫刻など」は20ページ、「デザインや工芸など」は16ページ、「鑑賞」は6ページ、資料が16ページであり、総ページ数は58ページで、前回より約16%増となっている。</p> <p>第2・3学年～ 「絵や彫刻など」は36ページ、「デザインや工芸など」は36ページ、「鑑賞」は25ページ、資料が11ページであり、総ページ数は108ページで、前回より約15%増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で、「美術はいつも生活や暮らしの中に」として、美術で身に付けた力を生かして社会で働く人たちを紹介している（第2・3学年）。 ・暮らしや気持ちを豊かにするデザインの題材で、アイヌ民族の伝統的な文様の「ルウンペ」を示すなど、北海道に関する作品等を紹介している（第2・3学年）。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材の終末で生徒に身に付けさせたい力について、題材の「ふりかえり」としてマークや囲みで示している（全学年）。 ・生活を豊かにするデザインや工芸に関する題材など、実生活と関連した内容を位置付けている（全学年）。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各題材の分野・内容に応じて色分けし、題材の冒頭や各ページにマークで示している（全学年）。 ・用具の取扱いなど、作品をつくる上での安全・注意に関する内容をマークや囲みで示している（全学年）。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすい配色やレイアウトにするなど工夫されている。

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観	38・光村	第1学年 第2・3学年	美術・727 美術・827	美術1 美術2・3
<p>取扱内容</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等</p>	<p>○ 絵や彫刻などについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 身近な人物のしぐさからイメージを広げて絵に描いたり、自然物や身近にあるものの材料の形や色のおもしろさを生かして表したりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～ 見る角度や距離を変えて観察したものを絵に表したり、想像の生物のおもしろさや動きを立体に表したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ デザインや工芸などについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 楽しく情報を伝える絵文字を考えたり、生活に役立つ器の使いやすさなどを考え、焼き物をつくったりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～ 情報やイメージを伝えるキャラクターを考えたり、季節感を考えて和菓子やうちわなどの工芸品のデザインを工夫したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 自然の美しさを取り入れた日本の美術作品の味わいについて話し合う活動を通して、自然の造形や美術作品についての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう。</p> <p>第2・3学年～ 東洋と西洋の空間表現を比べ、違いや特徴について話し合う活動を通して、美術作品などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう。</p> <p>○ 〔共通事項〕については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 野菜など身近にあるものの形や色などの特徴を感じ取り、木や粘土で本物らしく表す活動を通して、形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解する。</p> <p>第2・3学年～ ステンドグラスなど、光の色や影の形が生み出す美しさを考えて表現する活動を通して、形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解する。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 巻末のページにおいて、鉛筆やペン、水彩絵の具などの平面に描く用具の使い方を示したり、粘土や木でつくるための技法を説明したりするなどの知識・技能を習得する活動</p> <p>第2・3学年～ 江戸の浮世絵の職人技から学んだ技能を生かして木版画に表す題材において、浮世絵の制作過程や技法などを示したり、一版多色刷りの技法や制作の手順を説明したりするなどの知識・技能を習得する活動</p>			

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 気持ちを伝えるデザインの題材において、伝えたい相手に応じて、箱やカードで表すなど、学校や地域の実態に応じて、取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習することができるような工夫</p> <p>第2・3学年～ 工芸品の制作の題材において、表したい内容に応じて七宝焼や篆刻を選択するなど、学校や地域の実態に応じて、取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習することができるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「絵や彫刻など」は14ページ、「デザインや工芸など」は12ページ、「鑑賞」は20ページ、資料が22ページであり、総ページ数は68ページで、前回より約21%増となっている。</p> <p>第2・3学年～ 「絵や彫刻など」は32ページ、「デザインや工芸など」は24ページ、「鑑賞」は25ページ、資料が25ページであり、総ページ数は106ページで、前回より約6%増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末で、発想のための「学習を支える資料」として、著名な作家の制作過程におけるノートやスケッチを紹介している（全学年）。 ・様々な地域の美術文化の鑑賞題材でアイヌの伝統文様を示すなど、北海道に関する作品等を紹介している（第2・3学年）。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材の冒頭で生徒に身に付けさせたい力について、題材のねらいとして目標をマークや囲みで示している（全学年）。 ・生活を豊かにするデザインや工芸に関する題材など、実生活と関連した内容を位置付けている（全学年）。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各題材の内容を「絵や彫刻など」、「デザインや工芸など」、「学習を支える資料」ごとに色で示している（全学年）。 ・用具の取扱いなど、作品をつくる上での安全・注意に関する内容をマークや囲みで示している（全学年）。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすい文字や配色にするなど工夫されている。

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	116・日文	第1学年 第2・3学年 第2・3学年	美術・728 美術・828 美術・829	美術1 出会いと広がり 美術2・3上 学びの深まり 美術2・3下 美の探求
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 絵や彫刻などについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 身近なものの特徴や美しさを感じてスケッチしたり、身近な材料を組み合わせ発想を広げ、動物などの立体に表したりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～ 自然の光による瞬間の風景の美しさを絵に表したり、人の躍動感や緊張感が伝わるように立体に表したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ デザインや工芸などについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 言葉のイメージを考えて文字のデザインを考えたり、木肌や木目の美しさを生かして生活に役立つものをつくったりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～ 情報をわかりやすく伝えるピクトグラムを考えたり、使う人や場所の雰囲気を考えてインテリアや小物をつくったりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 観察をもとにした作品のよさや美しさについて話し合う活動を通して、自然の造形や美術作品についての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう。</p> <p>第2・3学年～ 動きや時間など漫画表現の造形的なよさについて話し合う活動を通して、美術作品などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう。</p> <p>○ 〔共通事項〕については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 身近なものや形の形や色を見つめ、美しさの特徴をとらえ、構成を考えてデザインする活動を通して、形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解する。</p> <p>第2・3学年～ 気持ちや季節感などの心でとらえたイメージを形や色で表現する活動を通して、形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解する。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 巻末のページにおいて、思い描いたイメージに合わせて表現を工夫するための多様な表現技法を示したり、鉛筆や水彩絵の具の使い方を説明したりするなどの知識・技能を習得する活動</p> <p>第2・3学年～ 生活を彩る染め物を制作する題材において、草木染めの制作の流れや技法などを示したり、布地用絵の具による染色の技法や用具の使い方を説明したりするなどの知識・技能を習得する活動</p>			

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 思い出の景色や場面を表す題材において、表現の意図に応じて、絵や立体を選択するなど、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるような構成し、発展的に学習することができるような工夫</p> <p>第2・3学年～ 生活を彩る染め物をつくる題材において、用途や機能に応じて染料を選択するなど、学校や地域の実態に応じて、取り扱う内容を選択できるような構成し、発展的に学習することができるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「絵や彫刻など」は14ページ、「デザインや工芸など」は14ページ、「鑑賞」は12ページ、資料が20ページであり、総ページ数は60ページで、前回より25%増となっている（A4判からA4ワイド判に変更）。</p> <p>第2・3学年～ 「絵や彫刻など」は26ページ、「デザインや工芸など」は24ページ、「鑑賞」は30ページ、資料が36ページであり、総ページ数は116ページで、前回より約21%増となっている（A4判からA4ワイド判に変更）。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザインの意味を考える題材で発想や手法の参考として、社会で活躍しているデザイナーのインタビューを紹介している（第1学年）。 ・材料の特性を生かした工芸品をつくる題材でアイヌ民族のアットゥシ織りを示すなど、北海道に関する作品等を紹介している（第2・3学年）。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材の冒頭で生徒に身に付けさせたい力について、「学びのねらい」として観点ごとのマークや囲みで示している（全学年）。 ・生活を豊かにするデザインや工芸に関する題材など、実生活と関連した内容を位置付けている（全学年）。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各題材の内容を「絵や彫刻など」、「デザインや工芸など」、「資料」ごとに色で示している（全学年）。 ・用具の取扱いなど、作品をつくる上での安全・注意に関する内容をマークや囲みで示している（全学年）。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすい文字の大きさやレイアウトにするなど工夫されている。

<美術の具体的な調査項目>

◎調査研究の対象とした事項

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 題材ごとのページ数及び総ページ数 ② 〔共通事項〕を位置付けている題材数 ③ 学習内容が実生活・実社会に関連付けられている題材数 ④ 発展的な学習内容等の箇所数 ⑤ 興味・関心を高めることができるような参考作品や図、北海道の素材等の数 ⑥ 発想や構想を促すヒントなどの数や見通しをもって活動できるような工夫の箇所数 ⑦ 日本の文化や伝統について取り上げている箇所数 ⑧ 学習のねらいや振り返りなど、指導事項の提示、定着について取り上げている箇所数 ⑨ 用具等の安全・注意について取り上げている箇所数 |
|---|

◎調査対象項目にした理由

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 学習指導要領に示されている内容を適切に指導することが求められていることから、題材ごとや全体としての分量を把握する必要があるため。 ② 表現及び鑑賞の各活動において共通に必要な〔共通事項〕について、指導の充実を図ることが求められていることから、〔共通事項〕が位置付けられている表現及び鑑賞の題材の数について把握する必要があるため。 ③ 形や色などによるコミュニケーションを通して、生活や社会と豊かにかかわる態度をはぐくみ、生活を美しく豊かにする造形や美術の働きを実感させる指導の充実が求められていることから、実生活・実社会との関連について把握する必要があるため。 ④ 個々の生徒の理解に応じ、きめ細かな指導をすることが求められていることから、学習内容を更に深める発展的な内容や、興味・関心に応じて拡張的に取り上げる発展的な内容等の記載状況を把握する必要があるため。 ⑤ 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育てることが求められていることから、表現や鑑賞の活動への興味・関心を高めるために工夫している内容について把握する必要があるため。 ⑥ 生徒が主体的に造形的な創造活動に取り組み、豊かに発想や構想をすることが求められていることから、豊かな発想や構想を促したり、見通しをもって活動できるような工夫について把握する必要があるため。 ⑦ 我が国の美術や文化に関する指導を一層充実することが求められていることから、美術文化の継承と創造への関心を高めるための内容について把握する必要があるため。 ⑧ 育成する資質や能力と学習内容との関係を明確にすることが求められていることから、各題材における指導事項の提示について把握する必要があるため。 ⑨ 事故防止のため、特に、刃物類、塗料、器具などの使い方の指導と保管、活動場所における安全指導の徹底が求められていることから、用具等の安全・注意事項について把握する必要があるため。 |
|--|

様式 4

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、別記にデータを掲載していることを示す。

調査項目			発行者		開隆堂		光 村 (※1)		日 文		
			1	2・3	1	2・3	1	2・3 上	2・3 下		
① 題材の数及び総ページ数	絵や彫刻	題材数	7	9	6	14	7	6	6		
		ページ数	20	36	14	32	14	12	14		
	デザインや工芸	題材数	4	8	5	10	7	5	6		
		ページ数	16	36	12	24	14	12	12		
	鑑 賞 (※2)	題材数	3	9	7	9	4	5	5		
		ページ数	6	25	20	25	12	16	14		
	資料のページ数		16	11	22	25	20	18	18		
	28年度用教科書のページ数		58	108	68	106	60	58	58		
	現行の教科書のページ数		50	94	56	100	48	48	48		
	増 減 (%)		16	15	21	6	25	21			
②	〔共通事項〕を取り上げている題材数 (※3)		14	26	18	33	18	16	17		
③	学習内容が実生活・実社会に関連付けられている題材数 (※4)		5	9	11	15	9	6	8		
④	発展的な学習内容等の箇所数 (※5)		0	0	0	0	0	0	0		
⑤ 参考作品や写真、図、北海道の素材等の数	参考作品	生徒作品	101	159	92	112	97	60	65		
		美術作品	20	181	86	238	52	127	84		
	写 真		158	208	266	301	163	98	176		
	図やイラスト		57	64	100	85	51	59	23		
	北海道の素材		0	4	1	11	3	3	2		
⑥	発想や構想を促すヒントなどの数や見通しをもって活動できるような工夫の箇所数 (※6)		115	220	46	79	62	59	70		
⑦	日本の伝統や文化について取り上げている箇所数 (※7)		7	83	39	84	14	71	43		
⑧	学習のねらいや振り返りなど指導事項の提示、定着について取り上げている箇所数 (※8)		11	17	15	27	19	16	17		
⑨	安全、注意について取り上げている箇所数 (※9)		5	2	3	2	2	2	3		

(※1) 光村については、28年度用教科書から、第2・3学年の上下が合本となり1冊となった。

(※2) 調査項目①の鑑賞の題材は、独立した鑑賞の題材を対象とし、表現と関連を図った内容は含まないものとする。

(※3) 調査項目②の〔共通事項〕は、共通事項を位置付けている題材数である。

(※4) 調査項目③の学習内容が実生活・実社会に関連付けられている題材数については、「生活に生かす・役立てる」「つくったものを使う」などの活動を掲載している「絵や彫刻」「デザインや工芸」「鑑賞」の題材数及び資料のページにおいてマークで示された数である。

(※5) 調査項目④の発展的な学習内容等の箇所数については、各教科書において『発展的な学習内容』と明記のあるものの箇所数である。

(※6) 調査項目⑥のヒントや見通しの箇所数については、作者の言葉や囲み、コラムで示されている箇所数である。

(※7) 調査項目⑦の日本の伝統や文化について取り上げている箇所数については、日本の伝統的な技法や材料を用いた美術作品、工芸品、建築物、日常品、行事、色、材料、用具などを示した箇所数である。

(※8) 調査項目⑧の指導事項については、題材の冒頭や終末に、題材のねらいや振り返りとして示されている箇所数である。

(※9) 調査項目⑨の安全、注意については、囲みやマークで示されている箇所数である。

別記
様式4の調査項目①「題材の数」の具体的な内容

発行者 開隆堂

学年	絵や彫刻	デザインや工芸	鑑賞	資料の主な内容
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ものを見つめる風景 ・心ひかれるおもしろさ ・人の形のおもしろさ ・彫刻動物園 図鑑 ・不思議昆虫の広がり ・表現の取捨 ・写し取る形 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活を豊かに ・材料を生かして ・動きのおもしろさを使って ・私の歩み 	<ul style="list-style-type: none"> ・比べてみよう ・原寸ギャラリー (樹花鳥獣図屏風) ・美しさの交流 	<p>[巻頭]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙 ・美術って何だろう？ ・集める・試す・組み立てる <p>[巻末]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パレットコーナー ・道具箱 ・色彩ホームページ ・裏表紙
第2・3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・わたしの「みち」 ・自分と向き合う ・空想からの表現 ・版画の世界 ・形や色彩からのメッセージ ・絵巻物の世界 ・モノトーンの美しさ ・環境と響き合う ・環境と響き合う ・人の形に込めたもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統の美に学ぶ ・デザインする心 ・デザインで伝える ・つながるデザイン ・環境をデザインする ・光と明かり ・木でつくる工芸 ・人がつくる、技を極める 	<ul style="list-style-type: none"> ・他人と違うこと、他人と同じであること ・劇的な瞬間を描く ・ルネサンスの美術 ・原寸ギャラリー (モナリザ) ・原寸ギャラリー (桜図) ・ゴッホと日本 ・祈りの造形 ・生きることと美術 ・ゲルニカ 	<p>[巻頭]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙 ・美術はいつも生活や暮らしの中に <p>[巻末]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の表現から見る美術の歴史 ・色彩ホームページ ・裏表紙

学年	絵や彫刻	デザインや工芸	鑑賞	資料の主な内容
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・見て描く楽しみ ・心安らぐ私の風景 ・人のしぐさを捉える ・写してあらわす ・版画の魅力 ・見つけた、触れたい！ ・形を丸ごと感じてみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・文様、飾りの小宇宙 ・絵文字がしゃべりだす ・気持ちを伝えるデザイン ・木のぬくもりと暮らす ・生活の中の焼き物 	<ul style="list-style-type: none"> ・感じたことを話し合おう ・美術って何だろう？ ・特別展示室 風神と雷神、自然と人 ・日本の美と自然の美 ・原寸大で鑑賞しよう ・アジアンを体験しよう！ 	<ul style="list-style-type: none"> 〔巻頭〕 ・表紙 〔巻末〕 ・発想のためのスケッチブック ・平面に関する技法 ・立体に関する技法 ・立と用具 ・形・色・材料・光の特徴を知ろう ・裏表紙
第2・3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・空想の世界を旅する ・あれ？どうなっているの ・見方を変えて ・情景、気持ちを重ねて ・墨の世界を体感しよう ・想像の生物をつくる ・浮世絵から学ぶ江戸の職人技 ・自画像、今を生きて ・躍動感を捉えて ・形と色の挑戦 ・環境とともに生きる彫刻 ・絵や立体が動き出す ・光と影で遊ぶ ・光とともに作る喜び 	<ul style="list-style-type: none"> ・メッセージを伝えるポスター ・情報を整理して伝える ・みんなのためのデザイン ・暮らしの中のキャラクター ・心をともしあか ・季節感のある暮らしを楽しむ ・包みの工夫、パッケージデザイン ・暮らしやすい町づくり ・夢を形にするデザイン ・手づくりに込める思い 	<ul style="list-style-type: none"> ・感じたことを話し合おう ・朝起きてから夜眠るまでの美術 ・原寸大で鑑賞しよう ・ト帽の自画像 ・特別展示室 ゲルニカ、明日への願い ・原寸大で鑑賞しよう ・風と鳥獣花木 ・北と南の風土から ・原寸大で鑑賞しよう ・絵巻物を楽しむ ・中学校美術、最後の時間 	<ul style="list-style-type: none"> 〔巻頭〕 ・表紙 〔巻末〕 ・発想のためのスケッチブック ・平面に関する技法 ・立体に関する技法 ・立と用具 ・形・色・材料・光の特徴を知ろう ・美術史年表 ・裏表紙

学年	絵や彫刻	デザインや工芸	鑑賞	資料の主な内容
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・見て感じて、描く ・身近なものを立体で表そう ・なぜか気になる情景 ・心に残ったできごと ・材料と対話して ・身近な人を見つめて ・刷って出会う美しさ 	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい構成と装飾 ・楽しく伝える文字のデザイン ・記憶に残るシンボルマーク ・一枚の紙から広がる世界 ・私の気持ちをカードに込めて ・使いたくなる焼き物をつくらう ・暮らした息づく木の命 	<ul style="list-style-type: none"> ・私が見つけた物語 ・教科書美術館 ・花の生命 ・デザインの扉を開こう ・伝統の中の動物たち 	<p>[巻頭]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙 ・出合って広げよう ・図画工作、そして…美術へ ・鑑賞との出会い <p>[巻末]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然界や身の回りにある形や色 ・平面作品の技法 ・色の特徴 ・モダンテクニック ・立体作品の技法 ・裏表紙
第2・3学年上	<ul style="list-style-type: none"> ・新鮮な視点でとらえよう ・しぐさで語る動物 ・響き合う言葉と絵 ・瞬間の美しさを形に ・心でとらえたイメージ ・墨が生み出す豊かな世界 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の美意識 ・情報をわかりやすく伝える ・豊かさをイメージで伝える ・やさしさのデザイン ・手づくりを味わう喜び 	<ul style="list-style-type: none"> ・名画の魅力に迫る ・光が生むリアルとドラマ ・教科書美術館 ・東へ、西へ ・漫画表現の豊かさ ・座ることから考える 	<p>[巻頭]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙 ・学びを深めよう ・表現の可能性を求めて <p>[巻末]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちを彩るパブリックアート ・日本美術の展開と世界との交流 ・水墨画の技法 ・立体作品の技法 ・色の特徴 ・裏表紙
第2・3学年下	<ul style="list-style-type: none"> ・私との対話 ・空想の世界への誘い ・一瞬の光をとらえて ・問題意識を形に表す ・イメージを形に表現しよう ・共同制作の魅力 	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力が伝わるパッケージ ・光と影の空間演出 ・自分たちの生活の現場を飾ろう ・生活を彩る染めの味わい ・暮らしを心地よくするインテリア ・デザインと環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・ここでシャッターを切った理由 ・教科書美術館 ・刻まれた祈り ・「ゲルニカ」は語る ・自然を愛でる空間 ・デザインで変える現在と未来 	<p>[巻頭]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙 ・美を探し求めて ・夢をかたちにするデザイン <p>[巻末]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の世界文化遺産 ・受けつぎつくる人の姿 ・アートを体験する場に出かけよう ・平面作品の技法 ・立体作品の技法 ・仏像の種類 ・近代の建築 ・あなたへ ・裏表紙

別記
様式4の調査項目⑤ [北海道の素材] の具体的な内容

開隆堂

学年	題 材 名	ページ	作品名 (場所)	作者名
第2・3 学年	・他人と違っていること、他人と同じであること (鑑賞) ・環境と響き合う形 (絵や彫刻) ・環境と響き合う形 (絵や彫刻) ・デザインする心 (デザインや工芸)	9	・山 富士山 (北海道立近代美術館)	・片岡球子
		5 4	・テトラマウンド (モエレ沼公園)	・イサム・ノグチ
		5 6	・妙夢 (JR札幌駅)	・安田侃
		6 8	・ルウンベ (アイヌ民族博物館)	

光村

学年	題 材 名	ページ	作品名 (場所)	作者名
第1学年	・文様、飾りの小宇宙 (デザインや工芸)	3 0	・アイヌ民族の衣服の文様 (旭川市博物館)	
第2・3 学年	・情景、気持ちを重ねて (絵や彫刻)	1 7	・知床遊覧船から見た”かもめ”	・生徒作品
		3 4	・モエレ沼公園 (札幌市)	・イサム・ノグチ
	・環境とともに生きる彫刻 (絵や彫刻)	5 1	・ヒロシマ・アピールズ (広島県)	・葛西薫
		5 8	・キュンちゃん (北海道)	・そら
	・メッセージを伝えるポスター (デザインや工芸)	6 2	・アットウシミアミプ (萱野茂二風谷アイヌ資料館)	
		6 2	・カパリミプ (萱野茂二風谷アイヌ資料館)	
	・暮らしの中のキャラクター	7 1	・みんなの家 (岩手県)	・藤本壮介
		7 5	・「君の椅子」プロジェクト (東川町)	・磯田憲一
	・北と南の風土から (鑑賞)	8 3	・妙夢 (JR札幌駅)	・安田侃
		8 4	・公園のライトアップ (札幌市大通公園)	
	・トピックス美術史 (資料)	9 5	・鯉魚文花瓶 (北海道立近代美術館)	・エミール・ガレ

日文

学年	題 材 名	ページ	作品名 (場所)	作者名
第1学年	・心に残ったできごと (絵や彫刻) ・身近な人を見つめて (絵や彫刻) ・色の広がり、色の魅力 (資料)	1 5	・山 (富士山) (北海道立近代美術館)	・片岡球子
		2 3	・ボタン (北海道立近代美術館)	・佐藤忠良
		5 4	・山あいにかかった虹 (上川町)	
第2・3 学年 上	・教科書美術館 東へ西へ (鑑賞) ・手づくりを味わう喜び (デザインや工芸) ・まちを彩るパブリックアート (資料)	2 5	・鯉文花器 (北海道立近代美術館)	・エミール・ガレ
		4 7	・アットウシ (アイヌ文化振興・研究推進機構)	
		4 8	・テトラマウンド (モエレ沼公園)	・イサム・ノグチ
第2・3 学年 下	・イメージを形で表現しよう (絵や彫刻) ・受けつぎつくる人の姿 (資料)	2 0	・意心帰 (東京ミッドタウン)	・安田侃
		4 8	・二風谷イタ (北海道)	